
「亜細亜大学ASEAN留学生ジャパンプログラム」

説明会資料

ASEAN諸国留学生に向けた新たな取組みを開始

近年、ASEAN諸国の経済発展は著しいものがあり、我が国との更なる人材交流が期待されています。しかしながら、まだまだ各国の学生が日本の大学へ留学するには、経済的な困難が伴う状況です。

この度、本学では、企業様からご寄付いただくことにより、ASEAN諸国から本学留学を志す学生を対象とした留学生別科と学部を合わせ在籍する5年間を支援する「ASEAN諸国留学生奨学金制度」を創設、平成28年度より本学留学生別科への奨学生の受入を開始しました。

また、平成29年度より「日本企業で活躍できるグローバル人材育成」を目指す各学部を横断する奨学生向けプログラム「亜細亜大学ASEAN留学生ジャパンプログラム（略称）ASEAN-JAPANプログラム」を新設し、産業界はもとより広く社会の期待に応えられる真の国際人を育成いたします。

亜細亜大学のミッションとビジョン————— 1 P

ASEAN諸国留学生奨学金制度————— 2 P

亜細亜大学ASEAN留学生ジャパンプログラム—— 3 P・4 P

(参考) 亜細亜大学の国際教育————— 5 P

＜亜細亜大学のミッションとビジョン＞

1、ミッション

～多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成～

亜細亜大学は、ミッション実現の動力としての建学の精神「自助協力」に基づき、学生が主体的に学び自己の可能性を広げることを支援し、創造力と実行力をもって新たな時代のリーダーとなる人材を育てます。

また、多様化する世界の中で、相互理解と調和をもって、アジア地域を中心に国際社会の発展と平和に貢献する人材の育成をすすめます。

2、ビジョン

2016年3月に策定した亜細亜大学中長期計画「アジア未来マップ2025」では、ミッションに基づく10年後の本学のあるべき姿を以下の「4つのビジョン」としてまとめました。

4つのビジョン（亜細亜大学中長期計画「アジア未来マップ2025」）

アジア交流の拠点となる

「亜細亜」という名前を掲げる大学として、また、早くからアジアの留学生を受入れてきた大学として、その取り組みをさらに発展させ、アジア研究所を先頭にしてアジア研究・交流の拠点と呼ぶにふさわしい大学となります。

「個性値」を伸ばす

本学の教育方針として二十数年前から「偏差値より個性値」を打出してきました。高大接続など明治以来の教育改革が課題となる今日、一人一人の学生に向き合った教育をさらに充実させ、学生の個性値（個性の価値）を伸ばす大学となります。

社会に貢献する

本学では二十数年前からボランティア授業を開始するなど、地域の課題を学びの課題として取組んできました。本学の有する資源を社会に還元すると共に、地域を学びのフィールドとする開かれた大学となります。

学生を生涯応援する

本学は、あらゆる面で学生の役に立つ大学となることを目指します。10万人の卒業を輩出した大学として、効果的な卒業生ネットワークを構築して卒業生と在学生の間をつなぎ、在学生と卒業生を支える大学となります。

<ASEAN諸国留学生奨学金制度 概要>

1、奨学金を給付する留学生の募集・選考

ASEAN諸国で日本語教育を実施している高校等と提携、本学教職員が現地で実施する入学試験により選考
(奨学生数 毎年20名の入学を目途)

2、奨学生への支援内容

- (1) 支援期間：留学生別科での日本語教育期間（半年～1年間）と学部在籍する4年間
- (2) 支援額：学費相当額（入学金・教材費・入学検定料を含む）

※5年間在学 1人当たりの奨学金概算 約500万円

3、企業等からの寄付金募集

- (1) 募金目標額：毎年1億円
- (2) 寄付金額：奨学生1人当たりの在学期間中の支援額として、1口100万円5口以上あるいは、毎年1口以上5年以上の継続的なご寄付

4、既に奨学金制度にご賛同いただいている企業様等 20社1基金

大成建設(株)、サッポロホールディングス(株)、(株)ぐるなび、(株)NKB、滝基金
東京急行電鉄(株)、東急不動産ホールディングス(株)、東急建設(株)
他 13社

※現時点で、ご寄付いただいている金額合計 約2億円

5、平成28年度招致留学生募集状況

期間	受け入れ人数	出身
平成28年4月	タイ人留学生2名受け入れ	スアンプラーク・ウィッタヤーライ・ランシット高校(タイ)
平成28年9月	ベトナム人留学生1名受け入れ予定	

※留学生別科入学は原則4月入学であるが、9月入学から編入しても支障ないと認められる場合、9月入学を可とする。また、同様に、留学生別科での日本語教育等を経ずに大学の学部へ入学しても支障ないと判断された場合は、これを可能とする。

＜亜細亜大学ASEAN留学生ジャパンプログラム 概要＞

(略称：ASEAN-JAPANプログラム)

1、開設趣旨

日本の少子高齢化・人口減少が進む中、今後の国際競争力の維持・向上や優秀な外国人材の確保のために、日本政府では、「留学生30万人計画」を推進、日本で学ぶ外国人留学生は、増加傾向にあり、中でもASEAN諸国からの留学生が大きく伸びています。

ASEAN諸国からの留学生の多くは、卒業後に日本企業に就職することを希望していることから本学は、学部教育をベースに、「日本企業で活躍できるグローバル人材育成」に資する学部を横断する教育プログラムが必要である考え、平成29年度より「亜細亜大学ASEAN留学生ジャパンプログラム (略称) ASEAN-JAPANプログラム」を開設します。

2、教育の目標「日本企業で活躍できるグローバル人材の育成」

- ★ ビジネスシーンでも通用する日本語能力の養成
- ★ 日本のビジネス文化を含む日本事情の十分な知識と理解
- ★ 企業で活躍するための知識・技能と外国語能力の獲得
- ★ 企業・自治体等での就業体験などによる社会人基礎力の涵養

3、プログラムイメージ (特徴)

本プログラムのための5年間一貫の専用カリキュラムを編成。

本プログラム生は、原則として、1年目に留学生別科に在籍し、2年目～5年目では亜細亜大学の各学部で学習する。ここで、本学が通常開設する日本人一般学生と同じ授業を履修することに加え、本プログラム生向けに開設された科目もあわせて受講していく。

留学生別科・各学部のカリキュラム
(一般学生向けの教養科目と各学部の専門科目を履修)



ASEAN-JAPANプログラム (AJP) 科目
(科目例：日本語、ジャパン・スタディーズ、インターンシップ)

4、プログラム内容

書類審査・面接・基礎学力検査などを経て、本プログラム生として認定された留学生は、本学の設置する留学生別科にて日本語・日本事情・英語を学び、学部教育に備えたのち、同じく本学が設置する5学部（経営学部・経済学部・法学部・国際関係学部・都市創造学部）の中から、希望する学部へ入学し、日本語教育に加え、教養教育と専門教育を通じて、基本的な知識・技能を獲得し、社会人基礎力を身に付ける。

	日本語教育	教養教育 (キャリア教育・英語教育)	専門教育
留学生別科	「日本語」「日本事情」	「英語」	—
学部1年	「アカデミック・ジャパニーズ基礎」 <u>到達目標：N2合格</u>	基礎数理など、SPI関係の就職試験に直接役立つ教養科目の履修を推奨&英語力など強化	各学部のゼミナール・演習参加は原則として必修。 プログラムの人材育成趣旨に沿って、各学部から推奨された専門教育科目を科目履修。 例： 経営学部経営学科 「キャリア論」等 経営学部ホスピタリティマネジメント学科 「ホスピタリティマネジメント特別講義」等 経済学部経済学科 「日本経済の現状と展望」等 国際関係学部国際関係学科 「日本経済と世界」等 国際関係学部多文化コミュニケーション学科 「現代日本文化論」等 他、現在検討中
学部2年	「アカデミック・ジャパニーズ応用」	2年次以降、「キャリア・インターンシップ」その他各学部学科にて開設されている「インターンシップ関係の科目」を履修	
学部3年	「ジャパン・スタディーズⅠ」（仮称）	その他、3年次には夏季休暇を利用した寄付企業を中心としたインターンシップ（2週間～1か月）を予定	
学部4年	「ジャパン・スタディーズⅡ」（仮称） <u>到達目標：N1合格</u>	企業人のオムニバス講義などを検討中	

※N1 … 日本語能力試験において1番難度の高いレベル。認定目安は「幅広い場面で使われる日本語を理解することができる」こと。

N2 … 日本語能力試験において2番目に難度の高いレベル。日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」こと。



「日本企業で活躍できるグローバル人材」としてアジア各国で活躍！

<ご参考資料>

亜細亜大学の国際教育

亜細亜大学は、「自助協力」を建学の精神として、「多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成」をミッションとし、国際教育に力を入れてきました。

海外からの留学生受入は、昭和29年に開始し、今までに約5,500名の卒業生を輩出しています。

留学生派遣では近年は、多彩な留学プログラムにより年間約600名の日本人学生をアメリカ・アジアを中心とした12か国・地域の提携大学に派遣、大学の留学制度を利用した派遣数は、全国の大学で第3位※になっています。

※大学ランキング2016（朝日新聞出版）

1、本学留学生受入の特徴

◆日本語教育課程「留学生別科」での大学学部入学前教育

留学生が、大学学部入学前に1年間、日本語や日本事情を学ぶ留学生別科を他の私学に先駆け昭和36年に開設、今までにアジア諸国の留学生を中心に約2,000名を教育してきました。

◆専門スタッフによる留学生サポート

留学生が安心して充実した学生生活を送れるように専門部署「留学生支援課」を設置、専門スタッフが徹底サポートしています。

◆留学生のための特別クラス設置

現在、大学学部では、日本語教育の他、「ビジネスリテラシー」「簿記原理」「会計学」等の授業で留学生専用の特別クラスを設置しています。

2、留学生受入実績（大学院・学部・短大・留学生別科 合計）※平成28年5月現在

在籍学生数 20か国・地域 372名

（内 ASEAN諸国 47名）

累計卒業生数 52か国・地域 5,499名